

令和5年度(2023年度)高校講座実施報告
(11月分)

令和6年1月4日

●東京都 千代田区立九段中等教育学校(令和5年11月29日)

講演テーマ: 平和をつくる仕事 ～夢のような楽しい世界にするために～

講師: 日本ASEAN友好協力50周年特別首脳会議事務局 押谷ひとみ 主査

開催形式: 対面



●茨城県 私立茨城高等学校・中学校(令和5年11月27日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 大臣官房 国内広報室 小林久美子 主査

開催形式: 対面



●静岡県 私立静岡英和女学院中学校・高等学校(令和5年11月22日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 大臣官房 国内広報室 小林まどか 事務官

開催形式: 対面

●東京都 都立南多摩中等教育学校(令和5年11月22日)

講演テーマ: 外務省でのキャリア、携わった仕事内容等

講師: 軍縮不拡散・科学部 国際原子力協力室 藤村みずほ 主査

開催形式: 対面



●栃木県 県立上三川高等学校(令和5年11月21日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 在外公館課 在外勤務支援室 山崎太 課長補佐

開催形式: 対面



●茨城県 私立水城高等学校(令和5年11月20日)

講演テーマ: 世界で活躍するための心得

講師: 在ヌメア領事事務所 増田是人 領事事務所長

開催形式: オンライン



●千葉県 銚子市立銚子高等学校(令和5年11月16日)

講演テーマ: 外務省の仕事について

講師: 文化交流・海外広報課 塚田裕美 主査

開催形式: 対面



●長崎県 県立佐世保北中学校・高等学校(令和5年11月15日)

講演テーマ: 外交について

講師: 国際法局 国際法課 河原崇人 課長補佐

開催形式: 対面



●長崎県 私立長崎総合科学大学附属高等学校(令和5年11月14日)

講演テーマ: 外交について

講師: 国際法局 国際法課 河原崇人 課長補佐

開催形式: 対面

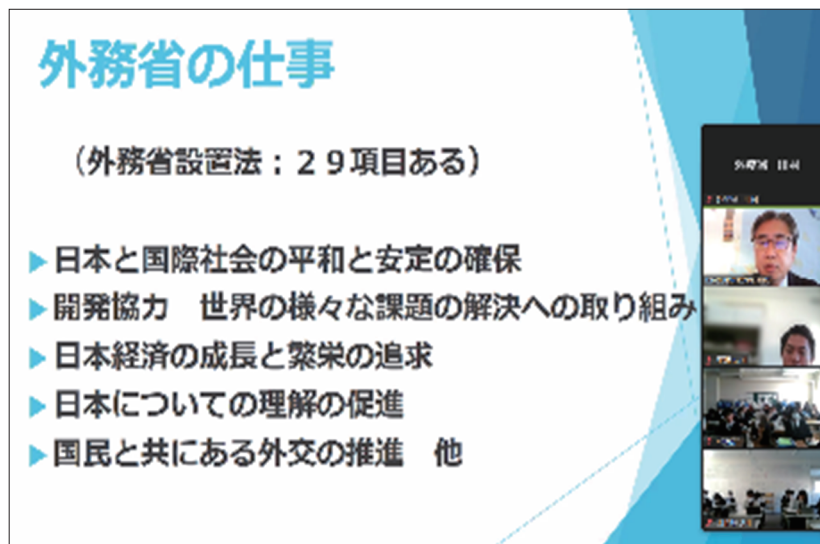


●高知県 県立高知国際中学校・高等学校(令和5年11月13日)

講演テーマ: 世界で活躍するための心得

講師: 在ヌメア領事事務所 増田是人 領事事務所長

開催形式: オンライン



●宮崎県 県立都城泉ヶ丘高等学校(令和5年11月10日)

講演テーマ: 外交官のお仕事と海外での生活

講師: 中東アフリカ局 中東第一課 末光拓海 主査

開催形式: 対面



●宮崎県 県立富島高等学校(令和5年11月9日)

講演テーマ: 外交官のお仕事

講師: 中東アフリカ局 中東第一課 末光拓海 主査

開催形式: 対面



●福岡県 私立福岡大学附属若葉高等学校(令和5年11月8日)

講演テーマ: 外務省の仕事

講師: 中東アフリカ局 中東第一課 小野行人 課長補佐

開催形式: 対面



●佐賀県 県立鳥栖高等学校(令和5年11月7日)

講演テーマ: 外務省の仕事

講師: 中東アフリカ局 中東第一課 小野行人 課長補佐

開催形式: 対面



●広島県 私立盈進中学高等学校(令和5年11月2日)

講演テーマ: 外務省の仕事

講師: 広報文化外交戦略課 深田舞花 主査

開催形式: 対面



●富山県 県立大門高等学校(令和5年11月2日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 国際法局 経済条約課 大西進一 前課長

開催形式: 対面



●広島県 県立佐伯高等学校(令和5年11月1日)

講演テーマ: 外務省の仕事

講師: 広報文化外交戦略課 深田舞花 主査

開催形式: 対面



●石川県 県立羽咋高等学校(令和5年11月1日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 国際法局 経済条約課 大西進一 前課長

開催形式: 対面



参加者からの感想(抜粋)

- 国際的な会議の際には、空港での要人出迎えや交通関係の整備、宿泊施設の確保も外務省が行っていると知り、とても幅広い分野の仕事があることに驚いた。
- テレビなどのメディアで報道される外交の様子はごく一部であり、裏でたくさんの人々の準備や協力があって成り立っていることがわかった。
- 今まで関心がなかった他国の文化や生活について興味を持つきっかけとなった。今回の講演で紹介された国以外についても、今後自分で調べてみようと思った。
- 今まで、外交と聞いても自分には全く関わりのないことだと思っていたが、国民一人一人の生活に密接に関わっていることを知った。
- 英語を勉強する際、発音や文法の正確さばかりを気にするのではなく、相手に正確に情報を伝えることが真のコミュニケーションとして大切だということを学んだ。
- 今、世界で起こっている戦争や紛争の原因・背景等について詳しく学ぶことができた。日本国内で起こっている問題でなくても、当事者意識を持って、自分にできることを考えてみようと思った。

- 日本国外で事件や災害が起こった際は、真っ先に現地にいる日本人の安否確認、安全確保をすると聞いて、今まで持っていた外務省の仕事に対するイメージが変わった（机やパソコンに向かって行う仕事ばかりだと思っていた。）。
- 外務省で働くためには、外国に住んだ経験や留学経験が必要だと思っていたが、英語が流暢に話せなくても外務省に入ってから学習するということが印象的だった。また、外務省で働いていると英語以外の言語を学ぶ機会もあるということに驚いた。
- 将来、国際的な仕事に就きたいと考えているので、今後のキャリア選択をしていく上での参考となった。
- 今まで、「外交」と聞いても具体的にどんなことをしているのか知らなかったが、技術提供や人的資源・物資の提供、自国の文化や歴史など、あらゆる要素を活用して外交が成り立っていることを学んだ。